

# 里なび研修会

自然資源の持続可能な利用・管理につながる里地里山活用の手法



里地里山は、人が自然に働きかけて生まれた空間です。人々は、里地里山から薪などのエネルギーや建材などの素材、食料などを手に入れ、同時にたくさんの生き物が生息・生育出来る共生の場を守ってきました。日本人の原風景をなして、心の豊かさを育んだ里地里山が、全国各地で荒れています。それに伴って、日本の生物多様性が損なわれ、土砂災害や鳥獣被害が起きています。

里地里山でかつて営まれてきた自然資源の利用形態は、持続可能な手法であり、生物多様性の保全とその持続的な利用が両立する自然共生社会のモデルとなります。

里地里山の機能や価値に対する理解は深まってきており、活動も盛んになってきましたが、今後活動を更に促進し継続的なものとするためには、これまでの成果を踏まえつつ、活動における課題を地域の課題として共有し、協働の仕組みづくりや施策への反映といった形で、手法の確立を図ることが重要です。

里なび研修会では、特徴的な取組事例を紹介するとともに、活動の促進に係る課題を抽出し、その解決手法や、効果的・持続的な取組とするための手法について、専門家を招いて検討します。

平成21年度 全国10カ所で開催します。

(北海道、山形県、栃木県、東京都、石川県、  
愛知県、京都府、広島県、愛媛県、鹿児島県)



# 里ナビ研修会～持続可能社会へ向けた里地里山の保全活用手法～



場所	日程	内容
石川県 能登町	12月19日 (土)	【里山里海共生産業を考える研修会】 里山の現地調査をもとに、地域資源の活用方法について、森林療法、里山産品開発、ツーリズムの視点から学びます。 ◇講師：上原巖(東京農業大学准教授)
北海道 黒松内町	12月21日 (月)	【里地里山に人を引き込む研修会】 里地里山を保全する人材育成を、新規就農、ツーリズム、企業や行政との連携で行う手法を検討します。 ◇講師：高木晴光(NPO法人ねおす理事長)
広島県 広島市	1月24日 (日)	【資源の循環利用による鳥獣害対策と小さな経済】 農地の荒廃と鳥獣被害をいかにくい止めるか。里地里山の整備を通じたバッファゾーン形成、そこから得られる資源の利用による小さな経済づくりについて学びます。 ◇講師：中越信和(広島大学教授)
京都府 京都市	1月28日 (木)	【企業と連携した里地里山の保全を考える研修会】 企業活動の中に、森林整備、荒廃農地解消と農林産物の買い取り制度などを組み込み、協働により里地里山の再生を図る手法について学びます。 ◇講師：宮林茂幸(東京農業大学教授)
東京都 世田谷区	2月4日 (木)	【里地里山を保全する行動計画を考える研修会】 里地里山をどう保全するか。都市近郊の里地里山の保全を、自治体による条例や地域指定、一社一村運動の取り組みから、里地里山の保全活用行動計画のあり方を検討します。 ◇講師：進士五十八(東京農業大学教授)
鹿児島県 鹿児島市	2月12日 (金)	【生態系の仕組みを解説する研修会】 里地里山の保全活動と生物多様性の保全を、いかにわかりやすく伝えるか。調査やワークショップを通じた解説方法を考えます。 ◇講師：浜本奈鼓(NPO法人くすのき自然館専務理事)
愛媛県内	2月下旬	【里地里山の仕組みをデザインする研修会】 里地里山の保全をデザインから考える研修会。何をどう工夫すれば、どこから考えれば、里地里山産品が着目されるかを検討します。 ◇講師：(調整中)
山形県 庄内町	2月28日 (日)	【流域文化を大学との連携から考える研修会】 流域の里地里山をどう保全するか。岩手大学、山形大学の取組から最上川流域の文化の保全と人材育成について学びます。 ◇講師：広田純一(岩手大学教授)
愛知県内	3月6日 (土)	【流域における生態系ネットワークを考える研修会】 愛知県内で生物多様性保全の取り組みを行う団体を軸に、生態系ネットワークの構築について学びます。 ◇講師：鷲谷いづみ(東京大学大学院教授)
栃木県 宇都宮市	3月7日 (日)	【野生鳥獣と里山の共生を考える研修会】 拡大する鳥獣被害に農林業は悲鳴を上げています。野生鳥獣との共生、その先にある里山地域の再生について、里山科学センターの取組から学びます。 ◇講師：高橋俊守(宇都宮大農学部附属里山科学センター特任准教授)

## ■参加方法

参加費無料、先着申込制です。

下記里ナビホームページ申込フォーム、またはメール・FAXにて、参加日／氏名／人数／連絡先(電話、FAX、電子メールのいずれか)をお知らせ下さい。

## ■申込み・お問合せ先

里ナビ事務局(里地ネットワーク事務局)

里ナビHP(申込フォーム)

<http://www.satonavi.go.jp/>

〒105-0003 東京都港区西新橋2-16-2-3F

TEL:03-5404-4846 FAX:03-5477-2609

E-mail:h21@satonavi.go.jp